

ドングリネット神戸不定期情報誌

ドングリタイムズ

第26号

特集：ドングリ好きな虫たち

03.4月～9月の活動報告／小畑が斬る／本の紹介
木のお医者さんのきになる話・特別編／こくちばん



「ドングリと動物イラスト」

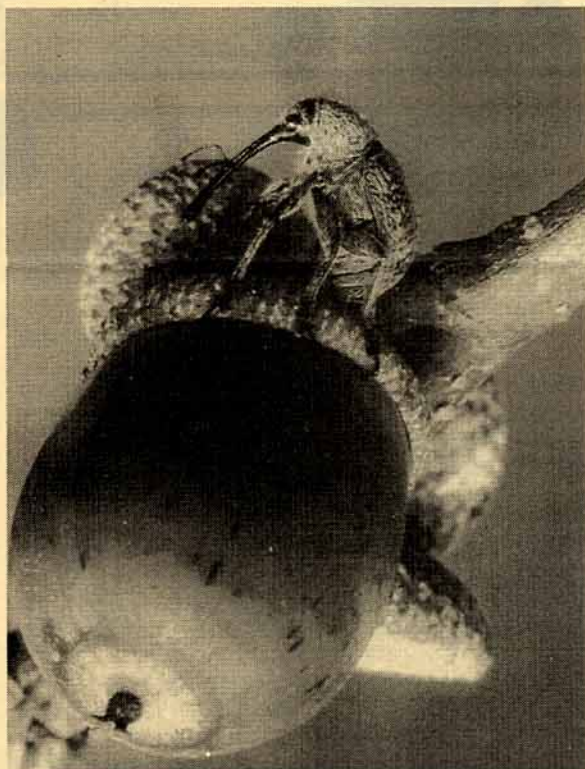
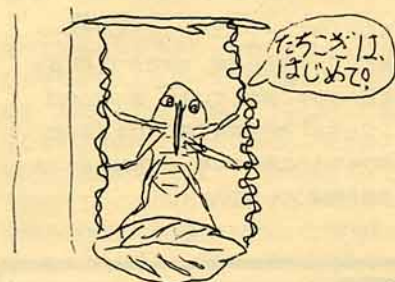
作品募集！！

ドングリの木に来る虫でも
ドングリを食べてる動物でもOK！
かわいいイラスト持ってるよ！

次号掲載された方には、ドングリ
Tシャツプレゼントしちゃうよ。



しんがりに
中です。





ドングリネット神戸

03年4月～9月の

活動報告

●横尾小学校ビオトープに苗木提供

神戸市須磨区の市立横尾小学校で、5月28日学校ビオトープ「ネイチャーランド」の完成式があり、参加してきました。このビオトープは、去年度の卒業生の設計図を元に、学校と、地域・企業・行政が力を出し合って、3月からずっと作業を続け、完成したものです。ドングリネット神戸では、ウバメガシの苗木約100本の提供をするともに、作業にもほんの少し参加しました。あいにくの雨続きでなかなか思うようにはかどりませんでした。子どもたちや家族、先生方も参加して、石を運んだり穴を掘ったりと相当の重労働でした。できあがった小さな里山には、小川も流れ、後ろの横尾山につながるすばらしい空間になっていました。何でもない学校の裏がこんな風に活用されるまでには、たくさんの人の知恵と力が必要だっただろうとあらためて感心してしまいました。



みの虫スタイルで日よけもOKよ



しつこいノイバラの草刈り。やりだしたらとまりません。



ドングリ村HPができました。

<http://www.h4.dion.ne.jp/~don-mura/>

「どんぐりノート」や「まるごとどんぐり」の著者でもあり、ドングリカーの生みの親の大滝玲子さんたちのグループが、この度とっても楽しいホームページを立ち上げました。どんぐり村役場で住民登録もできちゃうし、劇場やお店もあります。一度訪ねてみてください!

ドングリ銀行神戸もいい加減作らないとね。

下草刈りピクニック

おらが山



2003年 6月29日

例年になく良い天気で、地元高倉台からの参加者も多く、子ども、大人、スタッフ合わせて約80名で行いました。例年この時期までに、春に植えた苗木も半分くらい枯れているのですが、今年は春先に雨が多かったせいか、7～8割は枯れずに生長していました。02、03年と春にしっかり土留めをつくってチップ材などを入れて土を作っていた成果がやっと実ってきたのかもしれない。

草刈りや倒木の撤去などですいぶんさっぱりとしました。

屋からは、高倉青年隊のみなさんにも手伝ってもらって、久しぶりにバウムクーヘンを焼いたり、紙すきをしたりと盛りだくさんなピクニックでした。



できあがったバウムクーヘンちゃんとお年輪もあるよ



暑いけどワインナードッグ作りにはみんな熱心

コープ「虹の賞」を受賞しました

「虹の賞」は、コープこうべが市民活動のサポート支援として、91年から毎年、地域社会づくりに貢献した個人や団体に顕彰しています。第12回の今回、ドングリネット神戸も受賞することができました。これからもさらに皆さんに楽しんで参加してもらえ活動を展開していきたいです。

小畑が新る!!

こばたがきる

16

こばた 俊也

紅葉について



秋の山々を彩るカエデやイチヨウ…。今年は紅葉狩りに行かれますか? 今回は秋の植物の不思議をご紹介します。

1. なぜ、赤や黄色に色づくのかな?

昼間の気温が下がり、夜も冷え込んでくるこの季節、木々も「冬支度」をはじめます。暖かった夏の時期、葉には『葉緑素(クロロフィル)』という色素があります。葉緑素は、空気中の二酸化炭素と、根から吸い上げた水分、そして太陽の光から『でんぷん』を作ります。その『でんぷん』が、夜、糖分に変えられて葉や枝、幹へと送られていきます。

ところが、秋になると、夜の気温が下がるので昼間に蓄えられた『でんぷん』が、枝や幹に送られなくなり、葉に糖分がたまってくるのです。しかも、葉と枝の間に『離層』と呼ばれる切れ目が出来ることにより養分や水を運ぶのが難しくなります。その現象が始まると、葉緑素が壊れ、葉がもつ緑色が消えてしまい、同時に今まで目立たなかった黄色い色素である『カロチノイド』が浮き出てくるのです。これがイチヨウなどの葉が黄色に色づく黄葉と呼ばれるのです。カエデやニシキギなどのように紅色に染まる木々は秋になって必要以上に葉に蓄えられた糖分が、赤い色素である『アントシアン』に変わるからです。それらは、糖分が葉に蓄積されやすいので特に真っ赤に色づくこととなります。

2. 紅葉って秋だけじゃないの?

紅葉というと、秋の落葉期(葉が落ちる)に起こる現象と思われがちです。でも、実は春に紅葉する場合もあるのです。カエデの一部ノムラカエデ・ベニシダレ・ショウジョウなどや、トウダイグサ科のオオベニガシワのように新葉が赤く出てくるもの。新葉が出るところに一部の古葉が紅葉するオオカナメモチ・ホルトノキなどの常用樹がその例です。また、くさみじじという言葉があるように、高原などでは草木や小低木などの群落(樹の集まり)が色づくこともあります。

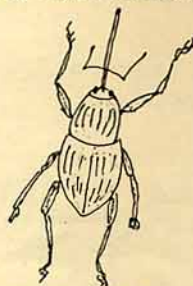
これからの時期、自然を感じに紅葉狩りに出かけてみてはいかがでしょうか? 黄色や紅色などの山々を見るときっといい気分になると思います。



●このコーナーは大人が子どもに読んで一緒に考えて下さい

ドングリ好きな虫たち

ドングリを袋に集めてしばらく置いておくと、必ずと言ってよいくらい白っぽいイモ虫が出てきます。「ドングリもいけど虫がねえ・・・」なんて言うお母さん方の声もよく聞きます。もちろんドングリ銀行神戸の事務局や車の中も秋のシーズンにはあちこちに虫がコロコロという状況です。さて、ではこの虫たちいったいどういう成虫になるんでしょう。



クヌギシギソウムシ

この他、少し小ぶりでも赤っぽいイモ虫は、メイガ(蛾)の種類の幼虫です。これは親が卵を産みつけるのではなく、幼虫が種皮を食いやぶってドングリの中身を食べます。

◀ 体長9~10mm。クヌギの実に産卵する。口吻(こうぶん：くちばしのこと)が長く、鳥のシギに似ていることからこの名前がついた。口吻は、頭の一部が変形したもので、先は、口になっている。頭が胸の中にしっかりとめこまれ、全身の力をこめて堅いドングリの種皮に穴を開けることができる。同様にコナラの実に産卵するコナラシギソウムシの方は口吻が細くて長い。

枝ごと青いドングリが落ちていたら、殻斗(ドングリの帽子)近くをよく見てみてください。チョッキリの開けた小さい穴がありますよ。興味のある人は、ビンに土を入れて幼虫をかってみよう！



ハイロチョッキリ

体長7~9mm。コナラの実に産卵。全身にうぶ毛のような毛が生えている。口吻は、シギソウムシよりも太くて短め。詳しくは、下の松元さんの報告をお読み下さい。



◀ チョッキリの仲間のオトシブミは、クヌギなどの葉に卵を産んで、クルクルと巻いて上手にゆりかごを作ります。

子連れふしぎ発見

文：マスタマキコ 絵：モエコ

夏休みに入って間もなく小2の娘が「母さん変な虫がいる！」と言って駆け込んできた。見に行くと2cmほどの枯れ木クズと思えるような虫で、調べてみるとマダラアシソウムシというソウムシの仲間では大きいものとわかった。さっそく土を入れたケースに枝や青いドングリを入れて飼ってみる。動きはゆっくりで、象のような鼻(口吻というらしい)がある。黒い目がかわいい。寝るときにはちゃんとまぶた(?)をつぶる。カブトのエサも大好きで、1日中動かない時もある。娘は「エレちゃん」(ゾウのエレファントから)と名付けてかわいがり、絵本まで作ってしまった。聞けばソウムシの種類は、地球上に6万種もいるらしく、甲虫の中では最も多いらしい。知らなかったなあ。ソウムシの奥は深そうですね。



本の紹介

「森をつくろう！」 森をつくろう！編集委員会

「尼崎21世紀の森づくり」の一環として作られた本で、ドングリネット神戸も、編集委員として関わりました。尼崎のみならず、ドングリの木など身近な木々を知って、緑を増やす方法が紹介されています。イラストも楽しく持ち歩いて見てボロボロにしてほしい一冊です。

問い合わせ先：兵庫県丹波市整備部県土企画局
(21世紀の森担当)
電話：078-362-9242



特別寄稿

「ハイロチョッキリの観察その後」

文：松元 廣美さん

夏の終わってから9月頃にかけて、公園のあちこちに緑色のドングリが枝ごと落ちていたのによく出くわします。これがハイロチョッキリの仕業だと分かって以来3年間ずっと観察を続けてきました。

ハイロチョッキリはソウムシの仲間、体長1cm足らずの小さな虫です。コナラの実に長い口吻(くちばし)で穴を開け、卵を産みつけた後に、今度は口吻をノコギリのように使って念入りに枝を切り落とすのです。

その後の観察で、この虫の興味深い行動が解ってきました。まず穴を開ける前にドングリを2回りほど丁寧に回り点検します。これは、先客がすでに産卵していないかを確認しているようです。確認ののち今度は枝に切れ目を入れる作業を約10~25分かけて行います。次にドングリに移り殻斗の部分に足を安定させて穴掘り作業にかかります。深さ4mmの穴を開けるのに20~40分かかります。頭を左右に振って力いっぱい作業です。

こうしておいてからくりと向きを変え、産卵はごく10数秒の速さで行ってしまいます。完全に枝を切り落とすのは、その後の数分で行うのです。また、産卵の後でいねいに穴埋め作業も行います。殻斗の表面から約1.5mmの深さまで、穴開けで出たクズを10~15分かけて詰めていきます。穴あけから穴埋めまでの産卵行動全体の時間は、ドングリの大きさや堅さなどで30分~50分と差はあるものの、見ていると全く休むこともなく、実にちょこまかとよく働きます。



では、1匹のメスのチョッキリは何個くらいの産卵をするのでしょうか？11月頃から土にもぐっていた幼虫が、6月中旬頃に羽化して、はっきりとした産卵行動を始めるのは9月に入ってからです。2、3日ごとにドングリを替えて形跡を調べた結果、01年の秋には、9月10日から10月25日の間に193個もの卵を確認しました。翌年の同時期には、141個でした。ただ、自然の状態では、お盆頃から枝を落としています。切った枝がうまく落ちずに木の上で枯れている例もあり、実際にはもう少し多くの卵を産んでいると思われます。

こうして切り落とされた枝の中で、卵は10日ほどで孵化し、幼虫はドングリ内の胚乳を食べて大きくなり、寒くなる前には出て、すぐに地面にもぐり込み越冬をすることができるようです。

今年のドングリはおおきいかな?
窓口でまってるよー

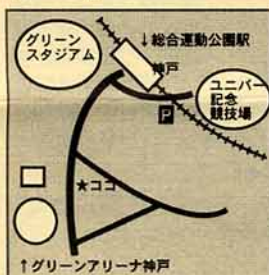


預ドングリのおきて

- その1. 水に沈んだ実のつまったドングリだけにすのじや
- その2. ドングリはできるだけ種類ごとにわけておくのじや
- その3. 100Dごとにわけて数をかぞえるのじや
- その4. 「ドングリしわけカード」をがいてはるのじや
- その5. 1回に預ドングリできるのは1~5000Dまでじや
- その6. 窓口に來れないものは、事務局まで送るのじや
- その7. 通帳も忘れずに



預ドングリ臨時窓口開設のお知らせ



10月11日(土) 10:00~16:00

神戸総合運動公園 水上ステージ横
「グリーンフェスタこうべ'03」

神戸市営地下鉄「総合運動公園駅」下車南側へ徒歩5分
▼駐車場あり(有料)当日は混雑が予想されます。

11月30日(日) 10:00~16:00

伊丹昆陽池公園 草生地広場

阪急・JR「伊丹駅」より市営バス
西野武庫川センター行
「住友北」または「昆陽池公園前」下車2分
昆陽の里行「市役所前」下車5分
▼駐車場あり(有料)当日は混雑が予想されます。

ドングリ工作
やグッズも
そろってるよ
きてね



掲載しきれませんでした
が、秋には他にも植樹や
イベントへの出展を予定
しています。詳しく知り
たい方は、事務局までお
問い合わせ下さい。

預ドングリ常設窓口開設のお知らせ

■ドングリネット神戸事務局

毎週火曜日(祝日を除く) 10:00~12:00
受付期間中のみ、毎週金曜日 15:00~17:00
も開局します。

郵送される方は、なるべく上記の期日指定でお送り下さい。
通帳も忘れずポリ袋などに入れて同封して下さい。

■コー・プラン

(茶店きんもくせいの2階です)

神戸市灘区楠丘町2-5-20

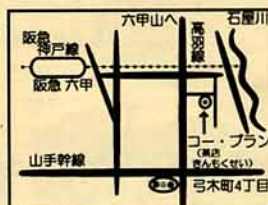
Tel. 078-842-2311

祝日以外の毎週月~金曜日

9:30~16:30に持ってきて

下さい

●ここでは郵送の受付はして
いません



ドングリ受け付け期間

10月10日~12月13日まで

尚、やむを得ず上記以降に預ドングリされる場合は、事前に
ご一報いただければ対応いたします。

ドングリピクニック

参加者募集

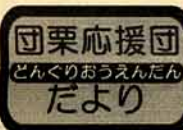
とき: 11月16日(日)

ところ: 奥須磨公園~おらが山

恒例となつてまいりました秋のピクニックです。
ドングリを拾って、遊んで、食べて、植えて、工
作して、秋の1日をドングリ三昧してみませんか?

お申し込みは、ハガキに住所・氏名・年令・性別
・電話番号をお書きの上、11月5日までに、ド
ングリネット神戸事務所までお送り下さい。集会場
所など詳細をお送りします。

主催: 神戸市森林整備事務所・ドングリネット神戸



半月ほど前の暑さがうそのようです。皆さん体調など崩されていませんか?
毎回多くの方から応援いただいて、活動が続けられていることを実感します。
特にくり返しご送金下さっている方には、その応援にきちんと答えられているのでしょうか?
何か「もっとこうしたら...」と思われていることがありましたら、ご意見下さいませ。

ドングリタイムズ25号発行後、03年9月15日までにご送金いただいた方のお名前は、
以下の通りです。ありがとうございます。

細木 博、川村道義、小田中康浩、大林進一、住友和子、岡 健、浅山三郎、柴 麻希、竹井恵美子・Peter Mattheus、
椎野久子、原田久美子、市川冬輝、梶 光輔、早瀬、松井智恵、近藤江子、河合峰雄、肥爪 穂、亀崎利治、竹元忠嗣、
GCコーポレーション、吉田節子、日色真帆、金城辰夫、中村光男、清水裕子、小森千枝、由井真波、和田邦孝、
廣内一政、山ロー史、長谷川善一、山口正邦、松井光利、小野豊子、橋本里枝、島田和美、鳥越和美、大倉由輝子、
米光園芸、高橋 篤・信・さやか、嶋海邦規、永嶋和子、田代俊彦、室山久代、大寺悦子、巨 信夫、加藤知恵美、
中西文枝、中村昌子、橋本敬明、寛幸公哉、上月健嗣・康史、藤下智章、林まゆみ、中村和正、澤木亮(順不同・敬称略)

●この活動は、コープこうべ環境基金の活動助成を受けています。

編集 後記

- ・ドングリの活動とは別に、この秋は六甲山で「ネイチャーアートキャンプ」というワークショップで、子どもたちと森をよーく見るための基地作りをします。今からドキドキです。(MASU)
- ・食欲の秋、スポーツの秋、勉強の秋、転職の秋?どこかいいとこないかな!(COBA)

ドングリネット神戸 事務局

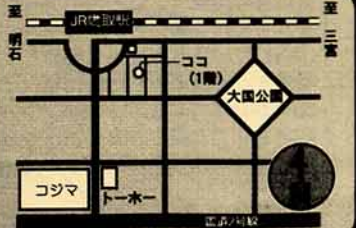
〒653-0054 神戸市長田区長楽町2丁目2-15

Tel./Fax. (078)739-2929

E-Mail: massuda@par.odn.ne.jp

代表 マスタマキコ

Tel. Fax. (0)8/99/5541



●事務局は、毎週火曜日の10:00~12:00開局しています。

●事務局は不在にしていることが多いので、お問い合わせはなるべくFAXまたは郵送にてお願いします。

駅南側ロータリー左手、角にスナック秋桜のある
路地に入って2階目右へ、赤い螺旋階段と看板が目印